

献血可能な服薬剤等について（概要）

服薬中又は服薬していた方でも下記の場合には献血できます。

ただし、献血者の健康状態、服薬目的、症状等により当日はお断りし次の機会にお願いする場合があります。できれば、服薬中又は服薬していた薬剤或いは説明書をご持参ください。（★特に問い合わせの多い薬は赤字で表記しています。）



1. 当日服用していても採血可能な薬剤

- ①ビタミン剤・・・貧血治療薬、ビタミンKを除く
- ②ミネラル剤・・・貧血治療薬を除く
- ③漢方薬・・・肝疾患、感冒、喘息等のために服薬している場合を除く
- ④高尿酸血症治療薬（痛風）・・・ザイロリック、ユリノーム、パラミジン、リボール等
- ⑤高脂血症治療薬・・・エパデール、ロトリガ等を除く
- ⑥花粉症治療薬・・・セレスタミン等を除く（セレスタミン等ステロイド含有薬は服用中止後、3日以上経過後採血可。）市販の抗アレルギー薬は当日服用可。
- ⑦胃腸薬・・・感染性下痢症のある場合を除く（制吐剤は当日不可。）
- ⑧低用量・中用量ピル（女性ホルモン）・・・避妊目的や更年期障害や月経困難症等の補充治療法に用いている場合、低用量ピルの服用は採血可。月経移動（周期変更）、機能性出血を目的に服用する中用量ピルも採血可。
- ⑨サプリメント・・・（栄養補助食品）
- ⑩抗潰瘍剤・・・潰瘍予防薬として用いている場合は可。現在、消化性潰瘍のある場合は治癒するまで不可。逆流性食道炎治療は採血可。
- ⑪緩下剤・・・アローゼン、センナ、セレミンソフト、ブルセニド、ひまし油など
- ⑫降圧剤・・・心臓、腎臓、血管系の合併症がないこと。高血圧症の治療薬として複数内服も可、血压がほぼ正常にコントロールされていることが条件。当日の血压を考慮します。
- ⑬過敏性腸症候群治療薬・・・トランコロンなど、抗うつ薬でなければ採血可。
- ⑭局所投与の薬物・・・点鼻薬、点眼薬、吸入、外用薬（塗り薬、貼り薬）

2. 当日服用していなければ採血可能な薬剤（前日まで服用可）

- ①内服用筋弛緩剤・・・アロフト、ミオナール、テルネリン、ムスカルム等
- ②睡眠薬、抗不安剤（安定剤）・・・原疾患、体調が参考とされる
- ③消炎酵素剤・・・ノイチーム、レフトーゼ等（炎症症状がない場合）
- ④前立腺肥大治療薬・・・アボタード、アボルブ、ザガーロ（6ヵ月後採血可）プロスカー、プロペシア（1ヵ月後採血可）を除く
- ⑤利胆剤・・・ウルソ、コスパノン等（基礎疾患による）
- ⑥市販薬
 - 1. 抗菌剤の入っていない風邪薬（当日、症状がないこと）
 - 2. 市販の消炎鎮痛剤
 - （ただし1. 2. とも血小板成分採血は内服中止後3日以上経過後に採血可）
- ⑦去痰剤・・・疾患により症状が落ち着いていれば当日服用でも採血可能な場合があります。
- ⑧高脂血症治療薬のエパデール、ロトリガ・・・血小板成分採血以外については当日内服していいなければ可。血小板成分採血については服薬中止後3日以上経過後採血可。
- ⑨消炎鎮痛剤・・・血小板成分採血以外の場合は症状がなく落ち着いていれば前日までの服用は可。血小板成分採血は服用中止後3日以上経過後採血可。

裏面に続く→



献血のお知らせ



血液は人の体の中でしか造られず、人工的に作ることができません。皆様からいただいた血液の80%は、がんや白血病、再生不良性貧血などの治療のために、日々、輸血が欠かせない人の命を支えています。

【月 日】 令和5年7月18日（火）

※天候不良等により、中止や変更となる場合があります。

400mL 献血のみを行います。

【場所・受付時間】 植原町役場前

【午前】 9時15分～12時15分

【午後】 13時30分～15時30分

【年齢】 男性・・・17歳から69歳まで

女性・・・18歳から69歳まで

※65歳以上69歳までの方が献血をされる場合は、60歳から64歳までの間に献血を経験されたことのある方に限られます。

【主催】 植原町・植原町献血推進会

採血基準と献血の間隔

| 採 血 基 準 | 種 類 | 全血 400mL 献血（成分献血は実施しません） |
|---------|---|---------------------------|
| | 1 回 献 血 量 | 400mL |
| | 年 齢 | 男性 17歳～69歳、女性 18歳～69歳 |
| | 体 重 | 男女とも 50kg以上 |
| | 年間総献血量 | 男性 1,200mL 以内・女性 800mL 以内 |
| | 献 血 の 時 間 | 約 15～20 分 |
| 献血の間隔 | 【400mL 献血】 男性は 12 週間後。女性は 16 週間後の同じ曜日から献血できます。 | |

ご協力をねがいします！

問い合わせ先 植原町役場保健福祉課健康増進係 〒65-1170（太田）

3. 最終服薬日を含む3日間は採血しない薬剤

*服用最終日を「1日目」とカウントし、「4日目」から採血可。

- ①抗精神剤、抗うつ薬（抗不安剤、安定剤を除く。）・・・体調が参考とされる。
- ②抗菌薬（抗生素質、合成抗菌薬）抗真菌薬、抗ウィルス薬・・・当日症状がなく治癒していること
- ③止痢剤・・・アドソルビン、タンアンルビン、フェロベリンA、ロペミン（感染性下痢に注意）
- ④喘息治療薬・・・キサンチン誘導体などの内服薬、β2刺激薬（吸入薬、貼付薬を含む）
※1か月間発作がなく発作予防的吸入薬のみであれば採血可。
- ⑤癲癇発作治療薬・・・コルヒチン
- ⑥事後に服用するピル（中用量ピルを含む）
- ⑦花粉症治療薬・・・ステロイド系抗アレルギー薬（セレストミン等）
- ⑧特殊な治療薬については、原疾患などを考慮した検診医の判断になります。

4. その他

- ①出血を伴う歯石除去など歯科治療を受けた場合は、3日以上経過後
- ②注射薬の使用については、原則当日は採血不可
- ③鍼灸治療は、当日不可。置き針は翌日から採血可

新型コロナウイルス（ファイザー社/モデルナ社）のワクチン接種された方は、接種後48時間は採血ができません。

なお、ワクチン接種の有無にかかわらず、発熱や全身倦怠感等の体調不良が認められる場合には症状が改善するまでは献血をご遠慮いただく場合があります。



※服薬しており不安のある方は、遠慮なく検診医、職員にご相談下さい。

生き活き教室

介護
予防版

令和5年6月20日

各部落代表者様

椿原町役場保健福祉課

【椿原町地域福祉アクションプラン（第3期椿原町地域福祉計画・地域福祉活動計画）】の概要版の配布について

日頃は福祉行政にご協力を頂き誠にありがとうございます。

椿原町では福祉施策の基本理念や目標、各区の目指す姿やそのための取り組みなどについて協議を重ねていただき、本年3月に「第3期椿原町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。

今回概要版を作成しましたので、地域住民の皆様方に配布していただけますようお願いします。

なお、本計画書は、椿原町ホームページにて公表しておりますのでこちらもぜひご覧ください。

◆お問合せ
椿原町役場保健福祉課福祉係
(担当:上川)
電話 65-1170

こんな不安を抱えていませんか？

- 階段を昇るときに手すりを触るようになった…
- 床や椅子からすぐに立ち上がれなくなった…
- 以前より硬いものが食べにくくなったり・時々むせる…
- できる限り自宅で好きなこと（煙など）をして過ごしたい…



実はその不安…**筋力の低下が原因**なんです！

場 所：保健福祉支援センター 4階

時 間：13時半～15時（13時～受付開始）

対象者：65歳以上の方

参加費：無料！

持ち物：筆記用具、水分

定 員：先着15名まで



筋力低下

転倒

介護状態

骨折

元気に過ごせる期間を
長くするために
参加しませんか！？

1回目

『フレイル・介護予防、介護保険について』

保健師・介護保険係より

7月19日
(水)

『体力測定、貯筋・筋力強化運動について』

椿原病院理学療法士より

2回目

『オーラルフレイル・口腔体操について』

歯科衛生士より

8月2日
(水)

『たんぱく質摂取の必要性・脱水について』

管理栄養士より

締切：準備の都合がありますので、参加希望の方は、

7月12日までに保健福祉課までご連絡ください。

問い合わせ：保健福祉課 兵頭（☎：65-1170）



